

精神障害事業者協が発足

森会長「実践を集約」

精神障害者の支援にあたる社会福祉法人な
どで構成する「一般社
日、発足した。精神障



新団体の会長となった森氏（左）と副会長の上野
容子氏。全国精神障害者福祉事業者協会提供

害者を支援する二つの
団体が組織統合した。
会長に就いた森敏幸・

社会福祉法人舟伏顧問
（岐阜県）は本紙の取
材に「各地の実践を集
約し、若い人の参加も
得ながら政策提言につ
なげたい」と語った。

同日、岐阜県内で設
立総会が開かれた。総
会後の結成大会では、
林修一郎・厚生労働省
精神・障害保健課長が
行政説明した。

組織統合したのは、
2009年9月発足の
全国精神障害者社会福
祉事業者ネットワーク
（森敏幸会長、事業所

会員77）と、10年7月
発足の日本精神保健福
祉事業連合（会長上

野容子・社会福祉法人
豊心会顧問、正会員は
122事業所）。

これまでこの2団体
は「全国精神障害者地
域生活支援協議会」

（戸高洋充理事長・東
京）との計3団体で連
絡組織「精事連」を設
け、精事連として厚生
労働省の検討会に委員
を送り込んできた。今

後、精事連は統合した
新団体と全国精神障害
者地域生活支援協議会
との連絡組織となる。

（福田敏克）